

## 令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立南小学校	足利市教育委員会	公立

## 1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
足利市立南小学校	<a href="https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/">https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/</a>	<a href="https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/">https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/</a>

## 2. 特別の教育課程の内容

## (1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「【教育課程特例校】特別の教育課程の実施状況等について（足利市）」を参照。

## 3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

## (1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

## (2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

### (3) 自校における評価

- ・担当から出されている毎月の英会話学習の計画に基づき、担任とALTやEAAとの打合せを行い、連携を密にして学習を進めることができた。
- ・担任からも積極的にコミュニケーションを取るよう心がけた。
- ・第1学年から英会話学習を実施していることで、英語に慣れ親しむことができ、ALTやEAAと英語で挨拶を自然にかわしたり、質問したりしている様子が見られた。
- ・英会話学習の時間に安心して学習できるよう、ALTやEAAに給食時や休み時間なども児童と関われるようにした。

### (4) 学校関係者による評価

#### <児童>

- ・低学年では、月1時間の英会話学習を楽しみにしている児童が多かった。
- ・英語での挨拶は、毎時間繰り返し行っていることで自信を持って言うことができた。
- ・英語チャレンジDAYでは、初めは話すことができなかった児童も、様々なアクティビティを通して自然に話すことができていた。

#### <保護者>

- ・英語チャレンジDAYでは、初めは緊張していたようであったが、終了後は楽しさを味わうことができ、英語に慣れ親しむいい機会となった。

## 4. 実施の効果及び課題

- ・英会話学習を実施することで、どの学年も挨拶や簡単な英語での表現に慣れ親しむことができた。また、外国の言葉や文化に興味・関心を持つことができた。
- ・英会話学習と各教科・領域との合科的・関連的指導を図ることが難しい。
- ・英会話学習と、学習指導要領で示す「外国語活動」「外国語」との関連をどのようにしていけばよいか。
- ・コロナウイルス感染症対応により3学期は、学級・学年休業があったため、計画の変更や、ALT・EAAと一緒にいる授業時間の確保が難しかった。

## 5. 課題の改善のための取組の方向性

- ・ALTやEAAとの打合せを充実し、児童が英語に慣れ親しめるような日常場面や教材などを活用して学習が進められるようにする。
- ・英会話学習との関連的指導が図れるよう指導計画を工夫する。(特に図工、音楽や学校行事などで)
- ・見通しを立てて計画的に授業を組んでいく。
- ・来年度は4年生以上の「外国語活動」「外国語」については、英語専科教員が指導にあたる予定である。担任が行う英会話学習との連携が図りにくくなると考えられることから、情報を共有する時間を確保する必要がある。